

---

# 「食と農業」から「環境」そして「生物多様性へ」

---

北海道未来づくり環境展2010「チャレンジ25」

平成22年10月11日

株式会社アレフ 環境事業部

# 会社概要

創業  
本  
年  
事業内容

昭和43年12月

札幌市白石区菊水6条3丁目1-26

367億円（平成22年3月期）

「びっくりドンキー」ハンバーグ限定ファミリーレストラン

「ペペサーレ」イタリアンレストラン

「小樽倉庫NO.1」地ビールのビアパブ など

※ 合計300を超える店舗を展開（平成22年10月現在）

※ 延べ約6000万人/年間のお客様がご来店



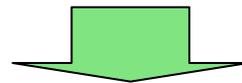
びっくりドンキー西多賀店(仙台市)



# 「環境への取組み」は自然な流れ

## 私達が大切にしている指針

- I. 「企業は社会の中にあって社会の不足不満を解決することを以って、その存在根拠とする」
- I. 企業活動は「お客様への役立ち競争」である
- I. 「食」と書いて、「人」を「良くする」と読む



命のつながりの中でいつまでも「安全な食」を提供していくために「自然との共生」は必然である

# 「食と農業から生物多様性」への歩み

- 平成 2年 農業生産法人 アレフ牧場(現(株)牧家)
- 平成 8年 「生ごみリサイクル」の取組み開始
- 平成 8年 店舗への植栽の導入(緑花活動)開始
- 平成11年 廃食用油のリサイクル(燃料使用)開始
- 平成12年 太陽光発電導入店舗(仙台)
- 平成13年 省エネ活動スタート
- 平成14年 使用済竹割り箸のリサイクル(炭化)開始
- 平成15年 **「アレフ環境行動計画」策定**
- 平成16年 盛岡インター店オープン(環境配慮型店舗/地中熱など)
- 平成17年 環境未来地図フォーラム2005開催  
ふゆみずたんぼプロジェクトの取組開始
- 平成18年 びっくりドンキー全店に省農薬米導入  
一般家庭からの廃食油回収開始(札幌、恵庭)
- 平成19年 「アレフ北海道工場」竣工(日本政策投資銀行による環境格付け融資)
- 平成20年 **CBD-COP9「ビジネスと生物多様性」でリーダーシップ宣言に調印**  
北海道「省エネルギー大賞」受賞(アレフ北海道工場)
- 平成21年 経産省「資源エネルギー庁長官賞」受賞(アレフ北海道工場)
- 平成22年 **COP10「第10回生物多様性条約締約国会議」ブース出展(2010年10月 於 名古屋)**



(株)牧家 自社牧場



びっくりドンキー西多賀店  
(太陽光発電/仙台市)

# 食の安全・安心 省農薬米

自然と生き物と人の共生を目指すお米

「755軒の契約農家さんにご協力頂いています」  
(秋田県・岩手県・宮城県・山形県)

- ・ 農薬の使用を除草剤の1回だけに制限して栽培されるオリジナル米（殺虫剤・殺菌剤の使用禁止）
- ・ 原産地と生産者を指定し、生産者による出荷証明が出来ること
- ・ 格付等級1等、食味Aランクが目標
- ・ 契約生産者と年に1回の生産者協議会を開催
- ・ 恵庭農場では「ふゆみずたんぼ」を实践



# 食の安全・安心 肉牛の肥育

のびのび放牧、穀物飼料を排除した、牧草・干草などを中心とした肥育方法を採用しています。

## 「ドンキー・ナチュラルビーフ」の生産

(ニュージーランド / オーストラリア)

- ・ 成長ホルモン剤を使わずに自然に成長させる
- ・ 飼料は牧草・干草・サイレージのみ
- ・ BSE発生の可能性が最も低い両国限定で肥育
- ・ 契約生産者と年に2回の協議会を開催
- ・ 恵庭農場において管理放牧の実践（主に羊）



# 「生ごみ」のリサイクル

1997年「生ごみ処理機」の店舗導入を開始



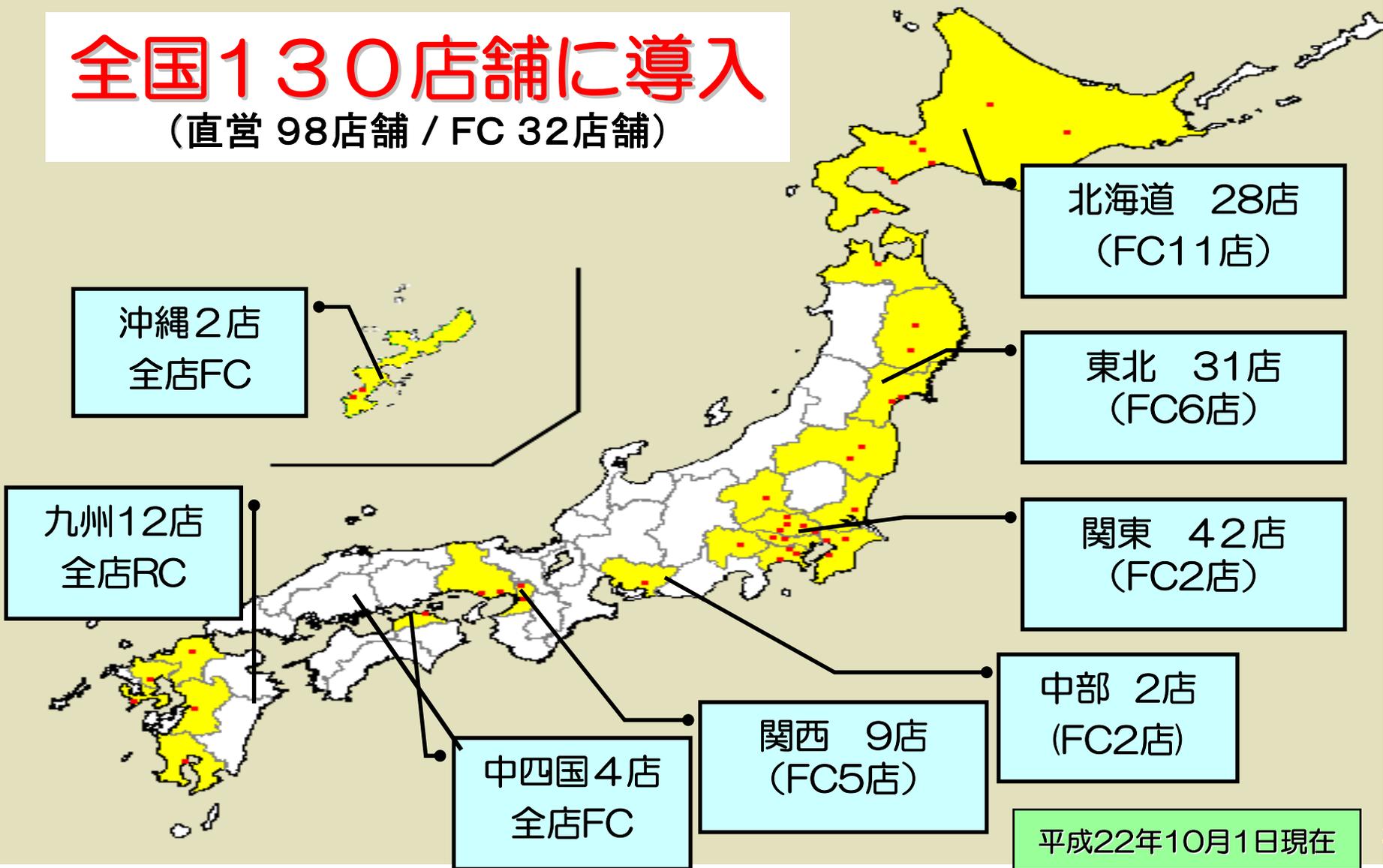
堆肥製造

環境事業部

# 「生ごみ処理機」導入状況

## 全国130店舗に導入

(直営 98店舗 / FC 32店舗)



# 「堆肥化資材」の行き先

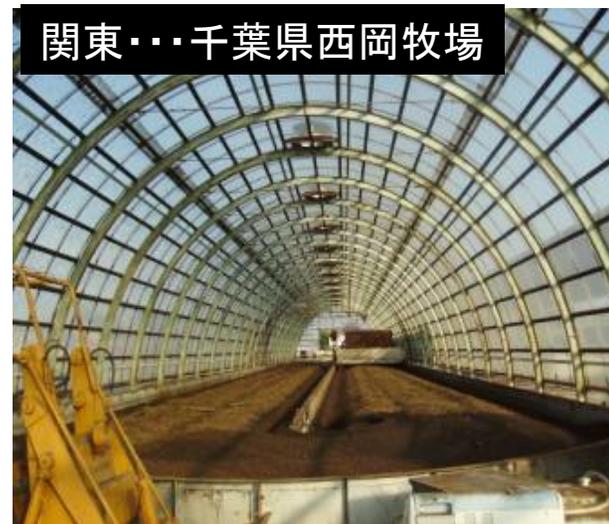
北海道・・・自社恵庭農場



東北・・・山形県佐藤牧場



関東・・・千葉県西岡牧場



関東・・・埼玉県阿部農園



四国・・・香川県渡辺牧場



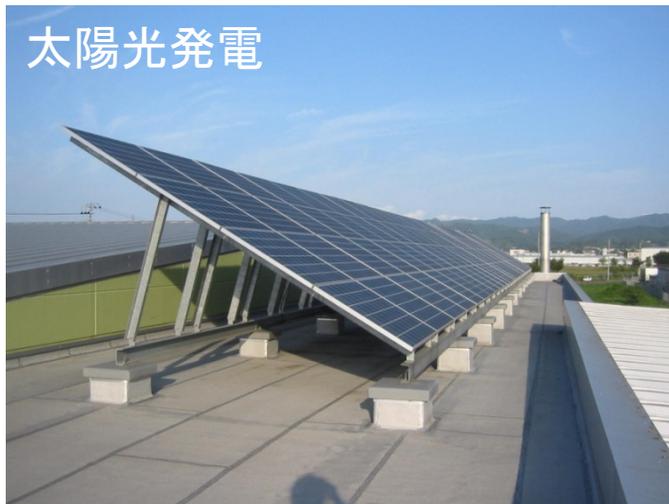
**全国19ヶ所の協力  
農家で完熟堆肥化**

**「良質な堆肥資材」  
と受け入れ先から  
評価されています。**

# 省エネルギー活動

- 必要なときに、必要なだけ、エネルギーを使えるような設備にする⇒センサーの利用（自動的に止める、節水バルブ）
- 自然のエネルギーを利用（太陽光、自然採光、雨水、地中熱）
- エネルギーのムダのない設備を採用（天然ガス コージェネ）
- 働いている人たちへの啓蒙・啓発の取組み
- エネルギー使用の見える化(ESP)

## 木質バイオマス利用



# 廃食用油利用 (BDF) の取組み



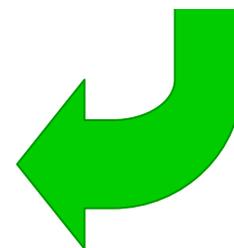
**家庭の廃食用油**  
(恵庭市内で18%の回収率)



びっくりドンキーなど店舗  
や小学校・消費者協会で回収



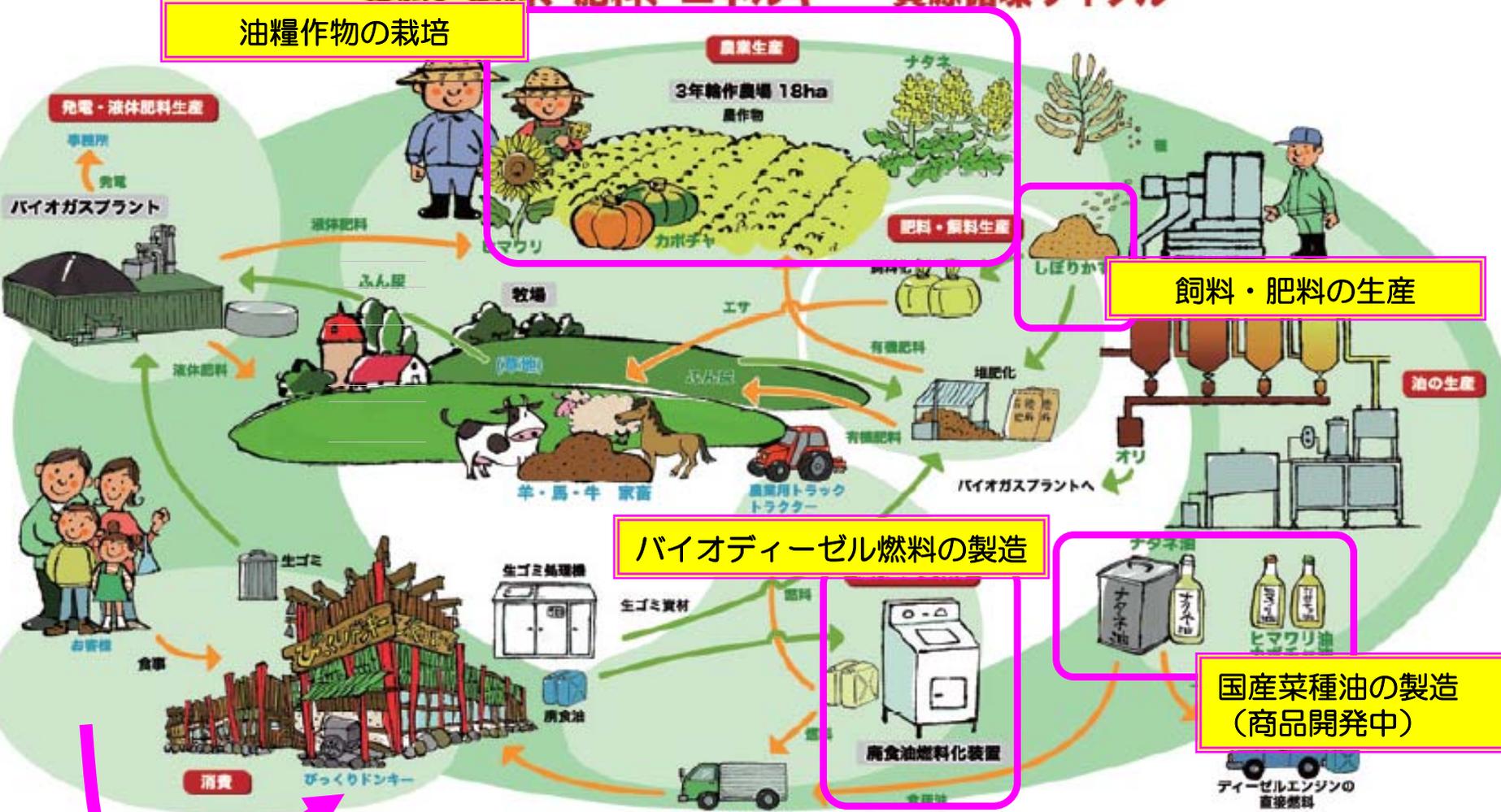
**BDF製造装置**  
(200L/バッチ)



# ナタネプロジェクト(恵庭市で実践)

## 食料、飼料、肥料、エネルギー 資源循環サイクル

### 油糧作物の栽培



### 飼料・肥料の生産

### バイオディーゼル燃料の製造

### 国産菜種油の製造 (商品開発中)

### 家庭用廃食油の回収

- 1.農場では、ナタネを中心とした3年輪作(毎年6ha作付、ナタネの種18t収穫目標)
  - 2.収穫した種は、搾油され、油は食用・燃料に、しぼりかすは家畜のエサや肥料になります。
  - 3.しぼりかす肥料や家畜のふんは堆肥化され、ナタネ栽培の肥料として還元されます。
  - 4.レストランで使用済の油(廃油)は回収され、燃料化し、トラクターやトラックの燃料になります。
- この様にしてナタネは、食料、飼料として消費された後、燃料や肥料として循環していきます。



# 食料・肥料・飼料・エネルギーの循環

農業(食料、飼料、肥料)



廃棄物



エネルギー、地球温暖化



教育



# 「アレフ北海道工場」(環境負荷低減型)

CO2排出量の51%削減を実現しました。

- ・ バイオマスの活用 (バイオガス / ペレット)
- ・ 化石燃料から代替可能な再生可能エネルギーを最大利用することで灯油の使用量ゼロを実現
- ・ 日量500kg排出される「生ごみ」はバイオガス化して使用
  - ※ 平成20年度 北海道「省エネルギー大賞」を受賞
  - ※ 平成21年度 経済産業省 新エネ大賞「資源エネルギー庁長官賞」を受賞



# 環境格付 Aランク取得

## 「環境配慮型経営促進事業

### 融資制度の環境格付審査

(日本政策投資銀行 / 外食企業初の格付け取得)

「環境への配慮に対する取り組みがとくに先進的と認められる企業」として最上位のAランクを獲得(2006年10月)

「アレフ北海道工場」の建設にあたり、優遇金利による融資実行を受けました。

# 「ふゆみずたんぼ」プロジェクト

- 「ふゆみずたんぼ(冬期湛水水田)」は農薬や化学肥料を使わない安心・安全なお米をつくる稲作技術として期待
- 農業近代化の中で失われていった、田んぼが本来もつ自然の回復や生物多様性の保全、水質の浄化などの可能性
- アレフは恵庭市の自社施設「えこりん村」で2006年から活動を開始

省農薬米から更なる未来に向けて



# 「ふゆみずたんぼ」で生き物調査

## 「えこりん村」内

- 面積：1,000m<sup>2</sup>
- 有機的栽培
- ほとんど手作業
- 定期的に調査



# 「生物多様性条約締約国会議」参加

生物多様性条約締約国会議 COP9 (2008年5月ドイツで開催)

リーダーシップ宣言に調印 (世界34企業の1社として)

- 調印企業は、以下の3つの目的に同意し、これを支持する
  - ※ 生物多様性の保全
  - ※ 生物多様性の構成要素の持続可能な利用
  - ※ 遺伝資源から生じる利益の公正・衡平な配分

生物多様性条約締約国会議 COP10 出展 (2010年10月 名古屋で開催)



---

ご静聴ありがとうございました。

お問い合わせは下記まで

株式会社アレフ 環境事業部

〒061-1433 北海道恵庭市北柏木町1丁目294

TEL.(0123)39-5800 FAX.(0123)39-5801